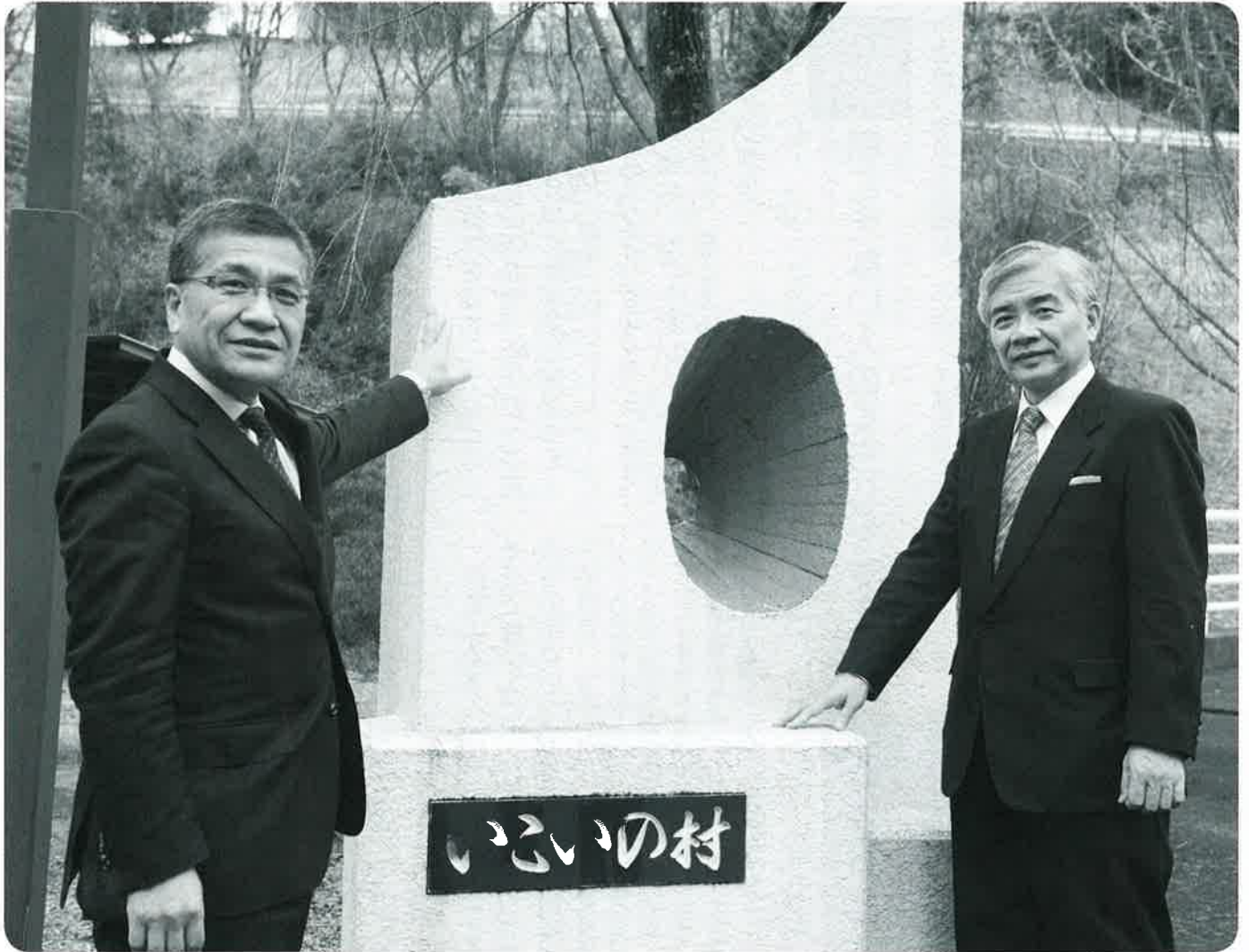


CO・OP

京都の生協

2015/April/No. 86
京都府生活協同組合連合会



障害のある人もない人も安心してらせる社会に
—聴こえない人によりそい、ともに歩む—

TalkTalk トークとーく

● 京都府聴覚言語障害センター 所長
社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会理事、前いっいの村聴覚言語障害センター所長

● 京都府生活協同組合連合会 会長理事

しば 田 ひろ し
かみ かけ とし さん
上 掛 利 ひろ
博

対談

TalkTalk

トークとーく

障害のある人もない人も安心してくららせる社会に

——聴こえない人によりそい、ともに歩む——

京都府聴覚言語障害センター所長
（社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会理事、前いこいの村聴覚言語障害センター所長）

京都府生活協同組合連合会 会長理事
（京都府立大学公共政策学部教授）

柴田 浩志
上掛 利博

阪神・淡路大震災を経て、テレビの災害情報はL字型の流れ続けるテロップ画面に変わり、片隅には手話画面がつくようになりました。電車に乗ればドアの上、次の停車駅がデジタル表示されています。こうした改善は、聴こえない人たちの要望によって進み、聴こえる人の生活にも役立つています。

障害のある人がくらしやすい社会は、そうでない人にとってもくらしやすい社会なのだということを痛感した対談でした。（この対談は、柴田さんがいこいの村聴覚言語障害センターの所長を務めておられた2015年2月23日に、いこいの村の障害者支援施設「たからの里」で収録しました。柴田さんは、今年3月に京都府立大学大学院の修士課程を修了されましたが、その指導教授が上掛会長理事でした）

綾部市の概要

綾部市公式ホームページより抜粋
http://www.city.ayabe.kyoto.jp/index.html

- 京都府の中央北寄りに位置する。
面積：347.11平方キロメートル
- 綾部市の推計人口（2015年3月1日現在）
総数：33,942人
世帯数：14,003世帯
高齢化率：32.1%（2011年3月末）

聴こえない人のくらしを支える「いこいの村」

上掛 先ほど昼食に、石窯で焼いたピザとパンをいただきましたが、薪の香りが鼻腔をくすぐるピザや、もっちりした食感のパンは、やみつきになりそうです（笑）。

柴田 ありがとうございます（笑）。マンと玉ねぎは、いこいの村で栽培したものなんです。この「たからの里」は、もともとお寺が運営する保育園でしたが、少子化で7年ほど前に閉園になり、いこいの村に譲渡の申し入れがありました。われわれとしても地域の貴重な財産を活用したいというので、いこいの村の障害



C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく対談

- 障害のある人もない人も安心してくららせる社会に……2
- 消費者市民社会の実現を目指して……7
- 第8回京都消費者問題セミナーを開催……7
- 大学生協京滋・奈良ブロックフェスティバル……7
- 大学生による消費者教育教材
「あなたはどっち？」作成……7
- 近畿ブロック地方消費者グループフォーラムin滋賀……7
- 2015年京都府生協連 新春交歓会開催……8
- きょうと食の安心・安全フォーラム
～なるほど！おいしい！安心・安全 京の食～……10

TOPICS

- 平成27年度 きょうと食の安心・安全意見交換会……10
- 食品衛生監視指導計画パブリックコメント……11
- 京都発！ 食とみどりのサイエンスNow……11
- 農林水産省近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会
との意見交換会開催……11
- 京都府食品産業協会40周年記念式典開催……11
- 会員生協 トップインタビュー vol.1
生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ……12
- 「つながろうco-opアクション交流会」……14
- 2014年度各会員生協と相互連絡防災通信
訓練を実施……14
- 近畿地区生協連・近畿ろうきん合同会議……14
- 協同シンポジウムinきょうと……15
- 憲法連続学習会・憲法カフェ開催……15
- マスコミ関係者との懇談会……15
- 京都府生協連 第15回
「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」……16
- おもな行事のお知らせ……16
- 表紙写真：いこいの村入口にある耳のモニュメントの前で
- 京都環境フェスティバル2014……14



京都府聴覚言語障害センター 所長
(社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会理事・前「いこいの村聴覚言語障害センター」所長)
柴田浩志さん

者支援施設「栗の木寮」の分
場として使うことを考えてい
たところ、地元住民の方が窯
の設計からパンの焼き方、ア
レンジパンのレシピまで、す
べて教えてくださったのです。

今後はカフェと石窯焼きパ
ンの販売だけでなく、お米や
野菜など地元産品も置いて、
地域の魅力発信の一助になれ
ばと思っています。多目的
ホールや体験用キッチン・石
窯もあるので、地域の方がた
にもどんどん活用していただ
きたいですね。

上掛 「いこいの村聴覚言
語障害センター」(※注1)に

は、「たからの里」以外にも
いろんな施設があるようです
が、全体の概要を教えてください。

柴田 運営主体は社会福祉
法人「京都聴覚言語障害者福
祉協会」で、栗の木寮(障害
者支援施設)とその分場のた
からの里、梅の木寮(特別養
護老人ホーム)、桃の木寮
(地域交流施設)、デイサービ
スセンター、在宅介護支援セ
ンター、地域包括支援セン
ター、認知症グループホーム、
グループホームが、綾部市の
上林地域に点在しています。
法人の理事12人のうち、8



人が聴覚・言語に障害のある
方で、当事者の方を中心に、
当事者のニーズに合った施設
運営をするという理念のもと
に事業を展開しています。

(※注1)

運営主体は社会福祉法人「京都聴覚言語障害者福祉協会」。法人の前
身は京都府ろうあ協会で、1978年に京都市聴覚言語障害センターの運
営主体として同法人が設立された。いこいの村は、同法人の府北部の拠
点施設として、綾部市の口上林地域くちかみばやしにおいて、1982年の栗の木寮から
開設が始まり、現在は9施設で構成。職員数は約200名(うち正規雇用
は約130名)、入所利用者数は約150名。



京都府生活協同組合連合会 会長理事
(京都府立大学公共政策学部教授)
上掛利博

地域と施設をつなぐ 「いこいの村新聞」

上掛 いこいの村ができた
ことで、上林地域にくらすみ
なさんの、障害のある方たち
への認識は変化しましたか。

柴田 わたしどもは「いこ
いの村新聞」という広報紙を
毎月6500部発行して、と
くに上林地域には全戸配布を
しています。この新聞には各
部署の責任者が書くコーナー
があって、わたしも「老人
ホームで火災が発生した」と

か「利用者の方が行方不明に
なった」「建物から漏水が発
生した」「利用者と悲しいお
別れをした」などと日々の
きごとを書いていたら、その
たびにいろいろな人から「柴
田さん、たいへんやなあ」と
声をかけられました。けっこ
う細かいところまで読まれて
いるんだなあと実感します。

わたしたちの施設は、でき
るだけ閉じないでオープンに

しようというところで、新聞に
載せる写真や名前も、ご本人
の了解をとったうえで、可能
なかぎり実名にしています。
寄付をくださった方について
も、匿名ではなく実名で載せ
るので、ときどき「この前、
野菜を寄付したけど、わたし
の名前が載ってへんよ」と言
われたり(笑)。

そういうやり取りを見てい
ますと、いこいの村ができた
ことで、障害のある方がたや
その施設への理解が進んだの
ではないかと思えますし、



3 山ぶどうコッペ、くるみパン、全粒粉パンなどバラエティー豊かなパンが並び。

ホームページやフェイスブックなども活用して、地域の方

がたとのつながりを深めていきたいと考えています。

「いいの村」と生活協同組合のつながり

上掛 生活協同組合も、しめ縄やピーマンや玉ねぎの産直、新入職員研修などを通じて、いいの村とつながってきましたね。

柴田 栗の木齋ができた3

年後の1985年から京都生協の職員研修を受け入れて、農作物の販売は83年ごろから現在までお世話になっていま

す。先日、コープ二条駅やコープ下鴨で「いいの村のピーマン」という札を立てて売ってくださっているのを見て、たいへん感激しました。昨年からは生協組合員とその子どもたちを対象に、たからの里で石窯ピザの体験交流を始めています。いいの村で玉ねぎの収穫作業をして、自分たちで生地をこね、それを焼いて、食べて、交流するのですが、最近玉ねぎを引き抜いたこともない子どもたちが多いので、とても喜ばれます。

上掛 2013年度の京都

府立大学の地域貢献型研究では、京都府北部の聴覚障害児・者の実態調査を柴田さんと一緒におこないました。京都生協からも委員に参加していただきました。(※注①)

柴田 これは昨年、府北部の5市2町で、障害者手帳をお持ちの聴覚障害児・者1796人を対象におこなった調査ですが、京都生協・廣池孝之両丹ブロック長が参加してくださいまして、とても心強く思いました。生協は、くらしそのものに関わる事業をされているので、とくに過疎地域でのくらしの支え方を一緒に考えていただきたいと思っていました。

上掛 調査の結果、どんなことが明らかになりましたか。

柴田 回答を寄せてくださった成人852人のうち約6割が80歳以上で、耳が聴こえないだけでなく足腰も弱り、医療や移動支援といった複合的なニーズを持っておられる



ことがわかりました。

また、聴覚言語障害者団体に入っている人の割合は、京都市内の5・6%に対して、北部は10・5%で、北部のほうが組織率が高いという結果が出ました。

交通の便が悪く、高齢化が進んでいるにもかかわらず、人とのつながりは非常に濃密だというのは、北部地域の特徴ですね。

(※注②)『京都府北部における聴覚障害児・者の社会参加促進に関する実態調査』2014年、(京都府立大学附属図書館、京都府生協連にあり)

手話の「おまじ

上掛 柴田さんが、手話と出会われたきっかけは？

柴田 わたしは北海道の名寄市の出身で、早稲田大学をめざして東京で浪人生活を送っていたのですが、そのとき、たまたま「手話を学びませんか」というような新聞記事を目にしたんですね。手話はまったく知らなかったのに、なぜかとても惹かれました。

結局、早稲田よりも合格発表が早かった同志社大学に入学金を払ってしまったので、そのまま同志社に入ることにしたのですが、その入学式のガイダンスで、聴覚障害の子どものサポートをしているボランティアサークルの紹介

を聞いて、「やってみたいな」と思ったわけです。それ

と、わたしは文学部でしたが、法学部の同学年に聴覚障害の学生がいて、彼と関わるようになったこともきっかけのひとつですね。

そういうわけで、大学入学時から手話を学び始めて、「みみずく会」という手話サークルにも通っていました。そのような経過もあって、卒業する前年には京都ろうあセンターから「うちでアルバイトをしないか」と声をかけられ、アルバイトをし、そのまま京都ろうあセンターに就職しました。

手話は言語の「おまじ

上掛 府立大学の新生研修に「いいの村」から来て

いただきましたが、聴こえない方がたは、昔は教育を受ける権利が奪われていたので文字を学習する機会がなく、筆談ができない人も多いことに

学生たちは驚いていました。

柴田 京都府立ろう学校が開設された明治初期の1878年当時は、現在の指文字と似た手勢法という教育指導法が採られました。その後、聴こえなくても話せるようにと



入所されている方と手話での会話

手話がずっと存在してしました。

いまは「手話で教えてもよい」とされていますが、いまだ手話で教育を受ける権利は明記されていません。聴こえる人の世界でも、たとえば英語を話せない人が海外で英語ばかりの世界にいると大きなストレスを感じるのと同じように、ろうの人たちの集団のなかに手話ができない健聴者がひとりであれば、周囲の会話が理解できず、かなり疎外感を抱くと思います。ろうの人たちは日常的にそういう疎外感にさらされているのです

から、少なくとも手話で教育を受ける権利、手話で自由にコミュニケーションがとれる権利は認められるべきではないかと思っています。

上掛 柴田さんは1999年に、手話の研究でフィンランドに3カ月間滞在されていますが、フィンランドの手話事情はいかがでしたか。

柴田 公用語はフィンランド語とスウェーデン語で、手話は言語としてその存在が憲法で保障されています。日本の手話通訳は主にボランティアの方がたが担っていますが、フィンランドでは99年当時で

も、2年半から3年間の学習カリキュラムを持つ短期大学のようなところで手話通訳者を養成していました。

教育を受ける形態も、日本とは違って、フィンランド語で受けるのか、手話で受けるのかを当事者が選択し、手話を選択した子どもについてはろう学校で手話で教育をすることになっています。

上掛 テレビで子ども向け手話ニュースを見ていると、目の表情やしぐさがとても豊かで楽しく、手話もひとつの表現方法であり文化なのだという感じを強く持ちました。

柴田 手話は視覚言語ですから、われわれも表情や目のしぐさには気をつけます。手話にも方言がありますが、その一方で、テレビで手話による放送が始まった1970年代後半から「標準手話」が生まれています。

「エイズ」「スマートフォン」といった新しい言葉も出てくるので、そのつど手話研究所を中心に、新語に対応する手話を創り、『手話辞典』（新・日本語手話辞典）中央法規出版、2011年）などで普及する取り組みがおこなわれています。

聴覚障害者が安心して生活できる社会は、だれもが安心して生活できる社会

上掛 いま介護分野で注目されている「地域包括ケア」は、「だれもが安心して暮らせる地域づくり」と言い換えてもよいと思いますが、「医療」や「介護」が話題にされるほどには、「福祉」すなわち人間の幸福の問題があまり考えられていないことが気がかりです。

柴田 いまだに福祉を利用することに抵抗を感じる方が

たくさんいらっしゃいますね。

できるだけ福祉と距離を置くこととする方が多いので、わたしどものような施設が地域との関わりを強め、敷居をどんどん低くしながら、ふだんから制度やサービスを活用することによって、くらしを支えられるようになればと思っています。

聴覚障害についていえば、ろう学校を卒業した人は横の

つながりがあって情報交換も

わりあい盛んですが、最近進められているインテグレーション教育（統合教育）で地域の小中学校を卒業した人は情報を得にくいという状況があります。そういう若年層に対するつながりづくりや情報獲得という課題とともに、高齢になつてから耳が聴こえにくくなつた老人性難聴の方がたへの支援も求められています。

上掛 これから社会全体で

高齢化が進むと、一般の人びとも老人性難聴になる可能性が高いわけですから、けつして他人事ではありませんね。

柴田 まさにそのとおりでして、たとえば最近、電車に乗ると次に停まる駅がデジタル表示されるようになりまして、これは聴こえない人たちに役立つだけでなく、耳が遠くなりかけたお年寄りにも



車内放送を聞き逃したときにも、とても助かります。

緊急時の避難についても、京都駅前地下街ポルタの電光掲示板の時計は、ふだんは時刻がデジタル表示されますが、災害時には緊急情報の文字が流れますし、京都市役所前の地下街ゼスト御池の通路には光誘導装置があつて、火災時などには光で避難口に誘導するようになっていきます。

どうに住んでいても等しくサービスが受けられるように

上掛 この4月から柴田さんは、城陽市に開設される京都府聴覚言語障害センターの所長として赴任されますね。柴田 はい、5月に開所式をする予定で、いまはその準備におおわらわというところ

です。わたしたちの法人は、どこに住んでも均等にサービスが受けられるようにということで、北部はいこいの村を中心各地域に聴覚言語障害センターの設置が進み、京都市にも聴覚言語障害センターがあるのに比べて、南部は施設整備が遅れていました。

テレビ報道も、阪神・淡路

大地震までは字幕も手話もありませんでした。緊急時、聴覚障害者団体の方々が「手話と字幕をつけて放送してほしい」と強く要望され、いまは災害時のテレビ画面にL字型のテロップ画面が出て、緊急情報を一定時間、流し続けるようになりまし。通信手段という点では、京都府は登録さえすれば災害情報が自動的に届

くようにと、緊急時のエリアメール配信を始めています。

こうした取組みは、聴覚に障害のある人たちのためだけでなく、市民全体の安全にも寄与することだと思えますが、残念なことあまり知られていません。福祉は特別な人たちのためだけにあつたものではないので、市民のみならずも関心を持っていただきたいな

そこで、2005年に南部の実態調査をおこなった結果、南部に情報発信・高齢者支援・地域住民の交流などの機能を持った施設が必要だという課題が見えてきました。その実現にむけて話し合いや行政折衝を重ねましたところ、各自治体も京都府に要望をあげてくださつて、ようやく一昨年、JR城陽駅前の京都府の所有地に南部の拠点施設を整備することが決まりました。南部の拠点施設は、聴覚障害者情報提供施設に加えて、聴覚障害の子どものサポートセンター、就労支援の

ためのカフェ、地元の方がたが利用される地域活動支援センター、さらに視覚障害の方のたのライトハウスの南部分室も併設された、総合的な施設となります。偶然にも、お隣は京都生協のコープ城陽のお店です。

上掛 10年前の南部の調査（「聴覚障害児・者の社会参加の促進に関する実態調査」2005年）も、柴田さんと一緒に取り組みましたが、調査の前に当事者も交えた学習会を何度も重ね、行政の協力も得て、資料的にも意味のある調査にすることができました。



調査結果を地域に出かけて広める運動にも取り組みました。

そうした調査活動が南部の拠点施設の整備につながったわけですが、大学の研究者として研究結果が実際の政策に結びつき、みなさんのお役に立てたとしたら、こんなにうれしいことはありません。

人間の幸福の実現にむけて、多様な方たちと協同していければと思います。ありがとうございます。

（写真撮影：豆塚猛）

プロフィール

柴田 浩志(しば ひろし)

1954年北海道名寄市に生まれる。1978年4月社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会に採用され、2009年4月から、いこいの村聴覚言語障害センターに単身赴任。

今春から城陽市に開所した京都府聴覚言語障害センター所長に就任。京都府立大学大学院公共政策学研究科博士前期課程修了。現在妻と娘の3人暮らし。



消費者市民社会の 実現を目指して

第8回京都消費者問題 セミナーを開催

2月19日(木)、ハートビ
ア京都で、消費者被害の事例
紹介と対策について広く啓発
し、適格消費者団体の認知を
はかることを目的に開催。56
人が参加しました。

京都消費者契約ネットワー
ク・高畠英弘理事長のあいさ
つのもと、京都生協組合員有
志による寸劇で最近の消費者
被害事例が紹介されました。
続いて、京都消費者契約ネ
ットワーク・野々山宏副理事
長・弁護士(日弁連消費者問
題対策委員会委員長、国民生
活センター前理事長)が、消
費者被害を未然に防止するた
めのセーフティネットの紹介



京都消費者契約ネットワーク・
野々山宏副理事長

と適格消費者団体の役割につ
いて講演をおこないました。

最後に、消費者支援機構関
西と京都消費者契約ネットワ
ークから、適格消費者団体の
活動報告がありました。京都
府生協連・横山治生専務理事
が閉会のあいさつをのべまし
た。司会はコンシューマーズ
京都・あざみ祥子理事がと
めました。

主催は適格消費者団体
NPO法人京都消費者契約ネ
ットワーク、NPO法人コン
シューマーズ京都、適格消費
者団体NPO法人消費者支援
機構関西、京都生協、京都府
生協連で、京都府・京都市の
後援事業。

大学生協京滋・奈良ブロック フェスティバル

2014年12月7日(日)、
立命館大学衣笠キャンパスで
開催。京都・滋賀・奈良の大
学生協の学生委員、役職員
500人が参加しました。

フェスティバルは、各大学
生協の1年間の活動の成果を
交流し、次年度の活動につな
げることを目的に開催されて



講演する消費者庁・阿南久前長官

います。「私たちの新しい社会
づくり、いま何を」と題し
て消費者庁・阿南久前長官に
よる講演とトークセッション。

「賢い消費者になることは
消費者市民になること、消費
者市民社会をつくることは消
費者が安心して豊かに暮らせ
る社会を実現する道」と述べ、
会場内の学生たちと一問一答
のセッションがありました。

大学生による消費者教育教材 『あなたはどっち?』作成

大学生協京滋・奈良ブロッ
クでは、京都府消費生活安全

センターの委託を受けて大学
生や若者を対象とした消費者
教育教材を開発しました。
教材は大学生の消費者問題へ
の関心を高め、より良い消費
生活の手助けとなることを目
的に啓発動画とリーフレッ
ト、講師用の副読本で構成さ
れています。



リーフレットには大学生が
まき込まれやすいトラブルに
ついて被害にあわないアドバ
イスや大学生活に役立つ情報
が掲載。

啓発動画は大学生の一日と
いう設定で、学生がトラブル
にあいやすい事例をミニドラ
マとして4編で構成、大学生
協京都事業連合のウェブサイ
トで公開。

教材を使って学生自身が中
心となって出前講座を実施し
ています。

近畿ブロック地方消費者 グループフォーラムin滋賀

2月4日(水)、滋賀県民
交流センターピアザ淡海を会
場に、近畿地区の消費者団体

行政で構成する実行委員会と
消費者庁の主催で開催され、
200名が参加しました。

テーマは「広げよう連携の
輪、消費者の安全・安心を
地域から」。開会に先立ち
各消費者団体による活動報告
パネル展示がおこなわれまし
た。消費者庁・板東久美子長
官が開会あいさつ。消費者庁
地方協力課・植田広信課長の
報告につづいて、14の消費者
団体から活動のリーダー紹介が
ありました。「見守り活動」、
「消費者教育の推進」、「子ど
もの安全・安心の確保」をテ
ーマに3つの分科会が開かれ
ました。閉会にあたり、各分
科会からの報告と坂東長官に
よる講評がおこなわれました。



消費者庁・坂東久美子長官

2015年 京都府生協連 新春交歓会開催



京都府生協連・
鮎江賢光副会長理事



京都商工会議所中小企業経営
支援センター・窪田裕幸所長



京都府府民生活部・
小林裕明部長



京都府生協連・
上掛利博会長理事



京都府生協連・
中森一朗副会長理事

1月10日(土)、コープ・イン・
京都で京都府生協連2015年新春
交歓会を開催しました。日岡豊子理
事が司会を担当、上掛利博会長理事
が開会のあいさつをのべ、鮎江賢光
副会長理事が会員生協の役員を紹介
しました。

来賓として、京都府府民生活部・
小林裕明部長からごあいさつをいた
だきました。

今年も地元選出の国会議員のみな
さまはじめ、府議会議員、市会議員
の方がたが多数ご出席くださり、横
山治生専務理事からご紹介をさせて
いただきました。

京都商工会議所中小企業経営支援
センター・窪田裕幸所長による乾杯
で、会食・懇談に入りました。

行政や議員のみなさんはじめ、1
14人の方にご出席いただきました。
同志社大学邦楽部の学生のみなさん
による祝賀の演奏が、お正月らしさ
をいっそうひきたてました。

さいごに中森一朗副会長理事が開
会のあいさつをのべました。



会員生協役員の紹介

ご出席いただいた国会議員のみなさん (順不同・役職は2015年1月10日現在)



日本共産党衆議院議員
こくた恵二さん



民主党参議院議員
福山哲郎さん



民主党衆議院議員
泉ケンタさん



自由民主党衆議院議員
宮崎謙介さん



同志社大学邦楽部のみなさんによる祝賀の演奏



日本共産党参議院議員
倉林明子さん



日本共産党参議院議員
井上さとしさん

**ご出席いただいた
京都府議会議員・京都市議会議員**

(敬称略・順不同)

| | | |
|---------|---------|-------|
| 日本共産党 | 京都府議会議員 | 西脇 郁子 |
| 公明党 | 京都府議会議員 | 諸岡 美津 |
| 民主・都みらい | 京都市議会議員 | 鈴木 正穂 |
| 民主・都みらい | 京都市議会議員 | 片桐 直哉 |
| 日本共産党 | 京都市議会議員 | 山中 渡 |
| 日本共産党 | 京都市議会議員 | くらた共子 |
| 日本共産党 | 京都市議会議員 | とがし 豊 |
| 日本共産党 | 京都市議会議員 | 加藤 あい |
| 公明党 | 京都市議会議員 | 津田 早苗 |

代理出席いただいた国会議員 (敬称略・順不同)

| | | |
|-----|---------|-------|
| 民主党 | 衆議院議員 | 前原 誠司 |
| | (代理) 秘書 | 齊藤 博史 |
| 公明党 | 衆議院議員 | 竹内 譲 |
| | (代理) 秘書 | 田原 功一 |

祝電・メッセージをいただいた方 (敬称略・順不同)

| | | |
|-------------|-------|-------|
| 総務副大臣 | 参議院議員 | 二之湯 智 |
| 自由民主党 | 衆議院議員 | 安藤ひろし |
| 民主党 | 衆議院議員 | 泉 ケンタ |
| 民主党 | 衆議院議員 | 前原 誠司 |
| 日本共産党 | 衆議院議員 | こくた恵二 |
| 日本共産党 | 参議院議員 | 井上さとし |
| 日本共産党 | 参議院議員 | 倉林 明子 |
| 民主党京都府議会議員団 | 団長 | 田淵五十生 |



今年もどうぞよろしく。

きょうと食の安心・安全フォーラム くなるほど！おいしく！安心・安全 京の食

1月28日（水）、京都府庁
福利厚生センターで「きょう
と食の安心・安全フォーラム」
が開催されました。

主催は、きょうと食の安心・
安全フォーラム実行委員会
（京都府、J A京都中央会、「一
社」京都府食品産業協会、コ
ンシューマーズ京都、京都鶏
卵・鶏肉安全推進協議会、京
都府生協連）。

今年で8回目の開催とな
り、府民約130人が参加し
ました。



（一社）京都府食品産業協会・山本隆英会長



京都府生協連・渡邊明子理事

（一社）京都府食品産業協
会・山本隆英会長の開会あい
さつにつづき、京都府農林水
産部食の安心・安全推進課・
津田義郎副課長が「京都府に
おける食の安心・安全の取組
み」について報告しました。

「きょうと信頼食品登録制
度」登録事業者および京都米
生産者による安心・安全の取
組みの報告をうけ、試食と意
見交換がおこなわれました。

報告をおこなった方がた
は、次のとおりです。①有限
会社グリーンファームソーゴ・
渡邊章取締役社長、②桐山食
品株式会社・桐山季久代表取
締役、③小川食品工業株式会
社・小川修司代表取締役、④
株式会社オノウエ管理部直販
課・松岡加奈子さん、⑤綾部
こだわりコシヒカリ部会・渡
辺隆部会長、⑥小川珈琲株式
会社・沖永憲生取締役。

京都府生協連・渡邊明子理
事が閉会のあいさつをおこな
いました。

平成27年度きょうと 食の安心・安全意見交換会

京都府食の安心・安全意見
交換会は、京都府食の安心・
安全推進条例にもとづき、消
費者である府民の意見を府の
施策に反映させることを目的
に、府内の消費者団体との間
で毎年、開催されています。

第1回目は、2月6日

（金）、京都府庁別館で「京都
府食品衛生監視指導計画」を
テーマに開催されました。

京都府健康福祉部生活衛生
課・森田朗課長が開会のあい
さつ。同・入江祐子副課長か

ら「平成26年度京都府食品衛
生監視指導計画中間報告」お
よび「平成27年度京都府食品
衛生監視指導計画（案）」、同
大石剛史副主査から「食品等
の収去検査計画」について説
明がありました。

「中小零細規模の事業者へ
のHACCPのすすめ方」、
「きょうと信頼食品登録制度
の普及と広報」、「ジビエ料理
の普及にとまなう、食肉加工
事業者への指導・監督」等に
ついて質問・意見交換をおこ
ないました。

第2回目は、2月16日（月）、
宇治茶会館で「宇治茶におけ
る安心・安全の取組みについ
て」をテーマにして、開催。



京都府農林水産部・奥野裕史理事

京都府農林水産部・奥野裕
史理事が開会のあいさつ。同・
農林水産技術センター・農
林センター・茶業研究所・大
串卓史主任研究員が「安心・
安全な宇治茶を届けるため
に」、続いて、共栄製茶株式
会社・執行役員・立開康司プ
ログクトマネージメント本部
長が「宇治茶での安心・安全
の取組み（製茶段階での取組
み）」、京都府・農林水産部・
農産課・宇治茶特産振興担当・
馬場奈央登技師が「宇治茶に
係る施策」を説明しました。

「お茶栽培と農薬使用につ
いての情報提供のし方」、「宇
治茶の定義」、「和束茶と宇治
茶の違い」などについて意見



京都府健康福祉部生活衛生課・森田朗課長

交換をおこないました。

第1回、第2回の意見交換会には、京都府生協連から、横山治生専務理事、坂本茂理事はじめ事務局2人が参加しました。

食品衛生監視指導計画 パブリックコメント

2月27日(金)、京都府生協連は、平成27年度京都府食品衛生監視指導計画(案)について、3月2日(月)には、京都市食品衛生監視指導計画(案)についての意見を提出しました。

「ホテル・レストラン等の店内でのアレルギー物質に関する情報提供の徹底にむけた取組みを抜本的につよめる」ことや、「健康食品」について「適正な表示」の徹底にむけて商品パッケージの記載内容だけでなく、新聞広告、新聞折り込みチラシ、インターネット等の「探索」の実施などをとめています。

意見書は京都府生協連ホームページ「資料集・政策提言」欄に掲載しています。

京都発！食とみどりの サイエンスNow



京都府農林水産技術センター・池内重樹センター長

2月21日(土)、京都府立植物園・植物園会館で開催されました。主催は京都府農林水産技術センターで、今年で6回目の開催。京都府生協連などが後援しました。

京都府農林水産技術センター・池内重樹センター長が開会のあいさつ。同センター海洋センター海洋生物部・西垣友和研究員が「海の京都の特産物」丹後あかもくについて、同センター農林センター園芸部・磯野浩太研究員は「カラフルな野菜・果物に宿る『チカラ』」抗酸化性を中心に「」をテーマに報告しま

した。「丹後あかもく」養殖技術の開発経緯や、京野菜には生活習慣病の予防効果のある抗酸化性が高いと紹介。「丹後あかもく」や、京野菜の「桂ウリ」のスムージーの試食もありました。京都府立植物園技術課・高木真男氏より、植物の魅力について話題提供がありました。

京都府生協連からは、坂本茂理事、高田艶子生協活動推進専門委員、事務局が参加しました。

農林水産省近畿農政局と 近畿地区生協府県連協議会 との意見交換会開催

3月3日(火)、せいきょう会館で開催。今年で17回目となります。

近畿農政局から、曾根則人局長はじめ8人の方が、生協から、近畿5府県の生協連・日本生協連関西地連の役員18人が参加しました。

開会にあたって、京都府生協連・上掛利博会長理事と近畿農政局・曾根則人局長があ

近畿農政局から、消費・安全全部消費生活課・藤井雅弘課長が、「攻めの農林水産業」の実現に向けた新たな政策の概要、「新たな食料・農業・農村基本計画について」、経営・事業支援部戦略課・丹菊将貴課長より、「農山村における再生可能エネルギーを活用した近畿圏での取組み事例」について情報提供があり、意見交換をおこないました。

休憩の後、食品ロス削減を

テーマに、近畿農政局・丹菊将貴課長が「食品ロス削減に向けて」について報告。生協から、ならこopp・中野素子副理事長(奈良県生協連理事)が、「食品ロスを考える」ならこopp(北エリア)の食べる、たいせつの取組み、兵庫

庫県生協連・三輪薫事務局次長から「こoppこうべにおける資源循環と環境共生型農園・エコファームについて」、日本生協連・関西地連・辻祥行事務局長から「生協のフード

バンクの取組み事例」の紹介があり、意見交換をおこないました。

14年度 農林水産省近畿農政局 と近畿地区生協府県連協議会との 意見交換会



農林水産省近畿農政局・曾根則人局長

京都府食品産業協会 40周年記念式典開催

2月19日(木)、ANAクラウンプラザホテルにおいて開催されました。物故者への黙祷のあと、山本隆英会長から式辞と功労のあった事業者個人7人に、感謝状が贈呈されました。農林水産省近畿農政局長、京都府副知事、京都市長から来賓の祝辞がありました。食品関連団体や食品、菓子、惣菜メーカーなど140人が参加。京都府生協連から上掛利博会長理事、渡邊明子理事、坂本茂理事、日岡豊子理事が出席しました。

生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ

細谷みつ子理事長・河崎豊彦専務理事に聞く

生活クラブ京都エル・コープは1993年に設立、店舗を持たず、個人配送、グループ配送による共同購入に取り組み、「組合員が自らのくらしを自治していく」ことを大切にしている生協です。理事長と専務理事にエル・コープとの出会いやこれからの抱負などお聞きしました。

豚一頭を分け合う生協？

横山 エル・コープとの出会いについてお伺いします。

細谷 「二頭の豚の肉を組合員で分け合っている生協があるよ」と聞いて、話だけでも聞いてみようと思ったのがきっかけです。エル・コープに加入する時はまず、地域の委員さんから説明を聞くことになっていたので、わたしと同じような年代の主婦の方が来られてお話され、それが新鮮

で組合員になりました。

横山 一頭を分け合うというのですが、具体的には。

細谷 一頭を分け合うというのですが、豚の肉にはロース、バラ、モモなどいろんな部位があります。それを、好きな部分だけを選んで利用するのはなく、一頭まるごと無駄なく、みんなで「いのち」をいただくということです。一頭からとれるロース、モモ、ヒレ、バラなどの各部位1kg



細谷みつ子理事長

前後を1ブロックとして各種類の部位をまんべんなくセツトにしてパッケージし、登録しているグループで購入してもらいます。バラとかモモとか、だれがどの部位をいつ購入したかわかるように、ローテーション表をつくり、順番にそれぞれの部位を購入するようになっていきます。

河崎 登録したら2週間に1回、四分の一頭分の各種ブロックのセツトが届きます。一頭ずつ大きさが違うので、グラムあたりの単価は一定ですが、グラム数が変わります。それもすべて了解済みで購入していただくようになっていきます。

横山 豚肉が購入の中心になっていくのでしょうか。

河崎 そうですね。当時は豚肉が中心で組合員が増えていきましたね。豚肉を登録する際は、豚肉解体の学習会に参加してもらったことを前提にしていました。

各家庭に、タテ半分に切断した枝肉を持ち込んで実施

ます。延べにすると500箇所です。延べにすると500箇所です。

横山 豚肉という肉と関東、関西は牛肉というイメージがありますが。

河崎 この取組みをすると豚肉が好まれるようになり、ハンバーグも豚肉100%ミソチでも十分おいしいねといふことがわかります。「牛肉文化」と言われる関西だからといって問題になるようなことはありませんでした。

横山 豚一頭を分け合いは今も続いているのですか。

河崎 当初の四分の一頭分のセツトはさすがに量も多いので、八分の一頭セツトに途中から変更し、5ブロックとミンチが3つはいつている8ブロックのセツトにしています。

横山 リンゴの分け合いというお話もありますね。

細谷 リンゴも箱単位を班で購入することになっており、一箱10kg、約36玉もあるリンゴを、グループの人数で分けあっていたので、それもあってしんどくない数にしたければグループの仲間を増やそうと生協加入に取り組みました。

までどのような活動に参加されましたか。

細谷 ダイオキシンの汚染監視の取組みとしてクロマツを指標植物とした、松葉のダイオキシン調査委員会に参加しました。月一回いろんな地域から委員が集まって話し合い、映画の上映会にも取り組み、資金集めに、バザーもやりました。

会議には母のような年代の方からわたしと同じような年代の方までいろんな委員さんが参加されていて、熱心に話し合いました。ふだん、主婦をしていまして、あたりさわりのないお付き合いが多く、かんかんがくが議論するということ経験はありません。委員会では白熱してくると、「あなたはその方がいいと思ってる」と問われたり、きついと感じましたが、こんな場はめったにない機会だとも思えました。

新しい世界の中心

横山 組合員として、これ



京都府生協連・横山治生専務理事



河崎豊彦専務理事

横山 新しい世界との出会いだったんですね。河崎専務のエル・コープとの出会いは。

河崎 知人から、こんな生協をつくりたいと誘われて、まだ生協として姿や形のないところから関わり始めることになりました。

ふだんのくらしの中から問題を考えるときに生活協同組合はすぐくおもしろいなと思いました。当時、取り扱っている商品も少なく、今も取引している滋賀県のお漬物屋さんの商品の共同購入や、初代理事長の石田紀郎さんが和歌山の下津で無農薬実験園をやっていたのでミカンの樹のオーナーを募集して、収穫したミカンをお届けるなどしながら、大阪にある他の生協の紹介や支援を受けて、徐々に、商盟をふやしていきました。

横山 2013年が創立20

周年でしたね。生協をつくる時に大事にしてきたことは？

河崎 設任意書には、食や環境についての危機感と、人間の命の危機、さらに人間同士の関係の危機に対して組合員が主人公になって解決できるような生協をということが書かれていますし、それが原点であると思っています。

横山 消費材という言葉を使っておられますね。

河崎 わたしたちが加入している生活クラブ連合会(※)では商品ではなく、消費材という言葉を使っています。食は本来、いのちを育むものです。営利優先ではなく、組合員が本当に必要な価値を生産者と消費者が創り、消費したいという考え方にもとづいていますね。

横山 他に特徴的な事業をご紹介ください。

細谷 ほかに、野菜ボックスといってボックス単位で無農薬野菜を購入する方法があります。何をどのくらい生産してもらおうのかを農家さんと作付け計画から話し合い、お願いした分をそのままいただきますし、農家さんにおまかせで届けてもらっています。無農薬で、その土地と旬に合ったお野菜が届きます。

横山 エル・コープの魅力は何でしょうか。

細谷 他の生協に比べて手間がかかる登録や利用方法ですが、そのことで実現できている価値もあります。毎月、観光バスで、長野にあるリンゴの産地を訪ね、生産の現場をしつかり見て自分たちも作業を体験するというのもやってきました。

リンゴ農家も廃業する方が増えている中で、わたしたちと取引している生産者は子どもの代へと後継者も育っています。「わたしたちは生産す

る消費者である」という言葉がありますが、リンゴ農園の視察交流を通してそのことを実感しています。

共に生きることを大切に

横山 これからの課題についてお聞かせください。

河崎 地域づくりの政策をきちんと持って臨みたいと考えています。5次中期計画の議論の中で、とくに福祉について検討し、近いうちに事業として立ち上げたいと思っています。

横山 昨年は物流センターの屋根に太陽光パネルを設置したところがつております。

細谷 山科にある東センターの屋根に太陽光発電のパネルを設置しようと組合員が「パネルあげ隊」というグループをつくり、組合員出資金の増強を募って設置しました。これも原発にはノー、自分たちでできるところからという趣旨だったのではないかと思います。

横山 昨年、理事長に就任されたのですが、こんごの抱負など、お聞かせください。

細谷 社会全体がぐらしにくさを増しているような気がしています。働き続けることができなくなったり、ひきこ

もりの方を抱えていたり。みんなが安心してくらせるように、共に生きるということが大事になっていきます。その一端を担えるようになればと思っています。

横山 本日はお忙しい中、ありがとうございました。

※生活クラブ連合会

京都エル・コープは、組合員の予約共同購入と生産者との提携関係をもとに、協同の力で国内自給力をたかめようとする「生活クラブ運動」に取り組む生活クラブ生協のひとつであり、全国の生活クラブ生協があつまってつくっている生活クラブ生協連合会に加盟しています。(2007年加盟)



生活協同組合生活クラブ 京都エル・コープ

代表者/理事長: 細谷みつ子
専務理事: 河崎 豊彦

所在地/京都市南区久世上久世町161番地
TEL.075-934-7370

事業高/10億8,152万円
組合員数/5,942人
設立年月日/1993年9月22日

<http://www.l-coop.com/http://>

京都環境フェスティバル2014



子どもたちもクイズに挑戦!

2014年12月13日(土) 14日(日)、京都府総合見本市会館で、「地球(アース)へ感謝ー京(KYO)から始めるエコ生活。」をテーマに開催されました。

主催は京都府などで、環境NPO等138団体による「体験・展示ブース」、「地産地消・エコグルメブース」など、楽しいイベントもおこなわれました。京都府生協連も、会員である京都生協、京都大学生協、生協コープ自然派京都とともに出席しました。展示内容は休耕田を有効活用し、飼料米で育てた鶏の卵「さくらこめたまご」の取組み(京都生協)、環境クイズ(京大生協)、安全と環境を守る取組み(コープ自然派京都)、ネガワット(節電所)の紹介(京都府生協連環境・エネルギー部会)など。二日間あわせて900人が京都府生協連ブースに立ち寄りしました。

「つながる」Coopアクション交流会

1月16日(金)、神戸国際会議場で、「阪神・淡路大震災から20年 東日本大震災から4年」みんなで作る、これからの地域とくらし」をテーマに開催されました。日本生協連とコープこうべによる共催。全国の生協組合員と役員あわせて426人が参加しました。

震災からの復興支援をはじめ、地域社会の課題解決に向けて「生協にできること」を考え合う場となりました。

全体会では、「阪神・淡路大震災から20年 ここから見える地域の未来」をテーマに、みやぎ生協・齋藤昭子顧問、神戸学院大学・藤井博志教授、コープこうべ・山口一史理事長が鼎談をおこないました。分科会では、



京都府生協連・酒向直之事務局長が報告

「これからの東日本大震災支援を考える」、「災害から見えてきた課題・高齢者への対応」など、さまざまな切り口で、これからの復興支援、防災の取組みなどについて5つの分科会、2つのワークショップがおこなわれました。

分科会では、京都府生協連・酒向直之事務局長が「地域との共生・協働の取り組みパートII」災害時のネットワーク(京都府災害ボランティアセンターと生協のかかわり」と題して報告しました。

2014年度各会員生協と相互連絡防災通信訓練を実施

1月19日(月)、阪神・淡路大震災から20周年をむかえ、京都府においても毎年大きな水害

が発生していることから、これまでの災害時の教訓を生かして、京都府生協連と21会員生協との相互連絡防災通信訓練を実施しました。

当日は、京都市内を震源とする震度7の地震が発生。各地で家屋の倒壊、一部道路の寸断が見られ、火災も発生していることを想定し、MCA無線、FAX・Eメールなどを活用して、対策本部の設置、被害・職員の安否状況の把握、連絡網の確認などの訓練をおこないました。

午前8時35分、京都府生協連対策本部を立上げ、集まったメンバーで当日の訓練内容を確認。各会員生協からの連絡を受けました。無線機による訓練では、会員生協からの発信に、対策本部では受信できない状況が一部発生しました。FAX・Eメールによる訓練では、2会員生協が翌日報告となる等、課題を残した訓練となり、会員相互の連絡通信訓練の重要性があらためて確認されました。

近畿地区生協連・近畿ろうきん合同会議

2014年12月17日(水)、近畿ろうきん肥後橋ビルで開催されました。

今回で2回目をむかえた合同会議では、近畿労働金庫から21



近畿労働金庫・若山忠義副理事長

人の方が、生協から近畿6府県の生協連役員11人が参加しました。開会にあたって、近畿労働金庫・若山忠義副理事長があいさつ。近畿労働金庫・安岡博司常務理事より近畿ろうきんの事業概要の紹介があり、労金協会・中川義一主任より「生協・ろうきんの相互連携」の全体状況について報告がありました。各生協府県連からは、各地域の生協活動の概況や、近畿ろうきんと連携した活動について報告がありました。

また、日本生協連・天野晴元国際部長より「世界の協同組合の事業・活動」と題して講演があり、質疑応答の後、生協と近畿ろうきんとの連携課題やこんごの施策について話し合われました。

協同シンポジウムinきょうと

2014年12月13日(土)、

京都労働者総合会館(ラポール京都)で、京都生協と近畿労働金庫京都地区統括本部の共催による「協同シンポジウムinきょうと」強くて、あつたかくて、優しい社会について考えてみませんか」が開催され、360人が参加しました。

第一部では、医師の鎌田實さん(諏訪中央病院名誉院長、イラク支援団体JIM・NET「ジムネット」代表)が「1パーセントは誰かのために生きる」を命・健康・絆・支援を考える」と題して講演。第二部では、近畿労働金庫、京都生協、国際NGO等によるパネルトークがおこなわれ、各組織での取り組み等が紹介されました。京都府生協連は企画協力団体として参加しました。



パネルトークの様子

憲法連続学習会・憲法カフェ開催



京都学園大学法学部・木藤伸一朗教授

日本の生協は「平和とよりよい生活」を理念に掲げて活動してきました。今、憲法問題について学び、生活協同組合として、何ができるのか考えあう機会として開催しました。

第一回憲法カフェは、2014年11月19日(水)、せいきょう会館で開催、26人が参加しました。

京都学園大学法学部・木藤伸一朗教授(京都憲法会議「※」事務局長)から、「憲法とはなにか」をテーマに講演をいただきました。

「憲法と法律は違うのか」「憲法はわたしたちのくらしにどのよう影響しているのか」「憲法が変わるとくらしも変わるのか」など憲法の基本について学びました。

第二回目は、2014年12月2日(火)、せいきょう会館で開催、24人が参加しました。

京都南法律事務所・岩佐英夫弁護士(京都憲法会議「※」代表幹事)から、「地球規模の武力行使への道をめざす閣議決定とガイドライン見直し」をテーマに、国連憲章における平和維持の全体構造や、憲法9条を有する日本と国連憲章遵守義務との関係などを学びました。

各回とも、京都生協・鳥井礼子理事が司会・進行をつとめました。

憲法連続学習会・憲法



京都南法律事務所・岩佐英夫弁護士

※京都憲法会議
1965年1月、大西良慶、末川博、住谷悦治、田畑忍、広津和郎などの各氏によって、憲法の改悪を阻止する、大国民運動の「よびかけ」がなされました。このよびかけに心え、同年3月に京都憲法会議が結成されました。憲法の平和、民主主義の原則を守り、完全実施させることも国民生活の向上と世界平和に寄与することを目的とし活動しています。

マスコミ関係者との懇談会



NHK京都放送局・佐々木良隆放送部長

3月11日(水)、御所西・京都平安ホテルで、京都に本支局を置く新聞・放送編集者との意見交換会を開催しました。

ぐる情勢と大学生のくらしの実態」について、京都府庁生協・本多浩専務理事が「府庁生協の活動」について、京都高年齢者生協くらしコープ・長誠一郎専務理事が「高年齢者生協の活動」について報告しました。意見交換では、学生生活におけるスマートフォンの影響、京都生協移動店舗の開始時期と品揃え、民間企業との差別化と生協の事業戦略、買い物弱者への支援、高齢者生協の組織概要などについて質問がありました。

京都府生協連・上掛利博会長理事と、NHK京都放送局・佐々木良隆放送部長があいさつをのべました。京都府生協連各会員生協から「2014年度の特徴的な活動」について報告しました。京都生協・鯉江賢光常務理事が「地域生協の状況」について、大学生協京都事業連合・沼澤明夫専務理事が「大学をめ

懇談会にご出席いただいたみなさん

※敬称略・順不同

| 会社名 | 役職名 | 氏名 |
|------------------|----------|-------|
| 朝日新聞京都総局 | 総局長 | 磯田晴久 |
| NHK京都放送局 | 放送部長 | 佐々木良隆 |
| 京都新聞社 | 編集局長 | 山内康敬 |
| 京都放送 | 報道局長 | 刀禰隆司 |
| 産経新聞社京都総局 | 総局長 | 深堀明彦 |
| 時事通信社京都総局 | 総局長 | 若林哲治 |
| 中日新聞社京都支局 | 大阪支社報道部長 | 坂本充孝 |
| 日刊工業新聞社京都支局 | 支局長 | 平野健 |
| 日本経済新聞社京都支社 | 支社長 | 三宅耕二 |
| 日本経済新聞社京都支社 | 支局長 | 田田敏則 |
| フジサンケイビジネスアイ京都支局 | 京都統括 | 樺山浩 |
| 毎日新聞社京都支局 | 支局長 | 元田禎 |
| 読売新聞社京都総局 | 総局長 | 吉村慎吾 |

京都府生協連 第15回 「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」

～組織と事業のイノベーションによる協同組合のあらたな価値の発見・創造の場として～

テーマ

ICA「協同組合の10年に向けた計画(ブループリント)」を学び、考える

1月20日(火)、せいきよ会館で開催しました。

2012国際協同組合年を記念して開催された国際協同組合同盟(ICA)の臨時総会で「協同組合の10年に向けた計画(ブループリント)」が決議されました。ICAはブループリントを「協同組合による事業を新たなレベルに引き上げる世界的運動の起点である」とし、2020年までの10年間の発展の指針であるとしています。



栗本 昭氏

今回の協議会では、ブループリントの翻訳者でもある栗本昭氏(生協総研理事・連帯社会研究交流センター副センター長)をお招きし、ブループリントが提起された背景や内容についてお話しいただき、これからの生協のあり方について考え、話し合いました。上掛利博会長理事が開会のあいさつをおこない、本多浩常任理事(京都府庁生協専務理事)がコーディネーターを

つとめました。

栗本昭氏が「ICAを通じて協同組合の国際的な連帯と協同組合の10年に向けた計画」と題してブループリントが提起された背景や内容について講演をおこないました。



京都生協・渡邊明子理事長

講演の後、会員生協および参加者による国際協同組合年記念の取組み紹介と意見交換がおこなわれました。京都生協・渡邊明子理事長から「国際協同組合年とはなんだったのか?」と題して、京都生協の歩みとICA大会の議論を振り返り、これからの生協の発展にむけて考えていることについて報告がありました。



大学生協京都事業連合・沼澤明夫専務理事

大学生協京都事業連合・沼澤明夫専務理事より、大学生

協寄付講座「協同組合論」と学生生活実態調査結果からみた組合員の大学生協に対する認知度の変化について、近畿労働金庫・谷口安弘上席専任役より組織の特徴と近畿労働金庫の取組みについて紹介がありました。



近畿労働金庫・谷口安弘上席専任役

参加者からの発言をうけて、栗本氏からは「生協は慈善団体ではなく、集団的な自助で問題を解決する組織。医療、金融、共済などそれぞれの組織が持っているノウハウを活かしNGO、NPO団体とも連携し、新しい分野にもチャレンジすることが求められている。そのためにもブループリントを活用してほしい」との提起がありました。参加者は37人。



京都府生協連・本多浩常任理事

おもな行事のお知らせ

第16回京都の生協活動を豊かに発展させる協議会(KSK)

日時：4月14日(火)

午後1時30分、午後4時30分(予定)

会場：せいきよ会館4階

第1会議室

テーマ：生協の広報(誌)活動を考える

京都府生協連 第62回通常総会

日時：6月16日(火)

午後1時30分、午後5時(予定)

会場：コープ・イン・京都2階

202号室(中京区柳馬場通蛸薬師上る井筒屋町4-1)

ピースバレット

(2015年度ピースアクション京都)

日時：6月21日(日)

会場：祇園石段下から京都市役所まで

2015年国際協同組合年テーマ 第26回京都集会

日時：7月8日(水)

午後1時、午後3時20分(予定)

会場：キャンパスプラザ京都